



第48回

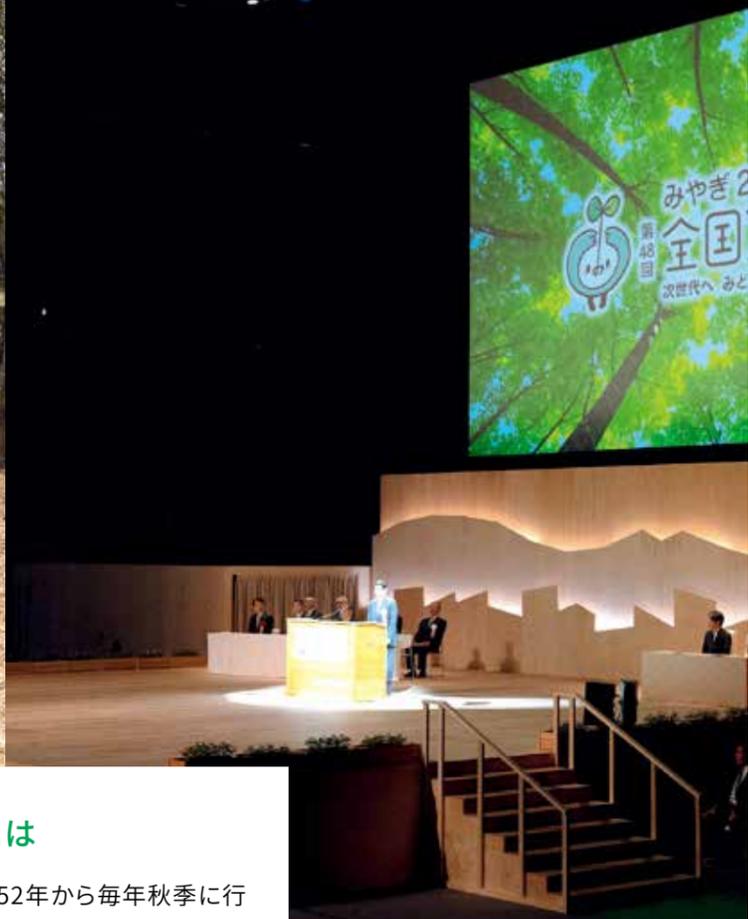
みやぎ 2025 全国育樹祭

次世代へ みどりのかけ橋 森づくり

令和7年 宮城県 開催の記録



第48回全国育樹祭宮城県実行委員会



全国育樹祭とは

全国育樹祭は昭和52年から毎年秋季に行われている国民的な森林・緑の祭典です。

天皇皇后両陛下がお手植えされ、成長した樹木に皇族殿下がお手入れされる育樹活動のシンボリックな「お手入れ行事」と、皇族殿下によるおことばや各種表彰などが行われる「式典行事」等を通じ、健全で活力ある森林を育て、次の世代に引き継ぐことの大切さを伝えています。



発刊にあたって



第48回全国育樹祭宮城県実行委員会会長

宮城県知事 村井 嘉浩

令和7年10月4日と5日の両日、秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席を仰ぎ、「次世代へみどりのかけ橋 森づくり」を大会テーマに、第48回全国育樹祭を開催いたしました。

10月4日に「国立花山青少年自然の家 南蔵王野営場」（白石市）で開催しましたお手入れ行事では、平成9年の第48回全国植樹祭において、当時の天皇皇后両陛下がお手植えされたブナとオオヤマザクラに、秋篠宮皇嗣同妃両殿下によるお手入れ（枝打ち・施肥）を賜るとともに、御参加の皆様にも育樹活動を行っていただきました。植樹祭、そして育樹祭を経て育まれてきたこの豊かな緑を通じて、継続して森を守り育てることの大切さを未来へと伝えてまいります。

また、10月5日には「宮城県総合運動公園（グランディ・21）セキスイハイムスーパーアリーナ」（利府町）で、県内外から約2,700人の皆様に御参加いただき式典行事を開催しました。式典では、秋篠宮皇嗣殿下からおことばを賜るとともに、緑化功労者等の表彰や緑の少年団の活動発表を執り行ったほか、メインテーマアトラクションでは、豊かな森を次世代へつないでいくことの大切さを全国に発信しました。

育林交流集会、全国緑の少年団活動発表大会、森林・林業・環境機械展示実演会などの併催・記念行事を含めた一連の行事には、約14,000人もの方々に御来場いただき、盛会のうちに終えることができました。開催にあたり、御尽力、御協力いただきました多くの関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

この全国育樹祭を契機に、「木を使い・植え・育てる」気運を一層広め、森林を次世代につないでいくための森林整備や各種施策の展開、人材の育成、確保に取り組んでいきます。また、復旧した海岸防災林を守り育て、次世代へつないでいくため、産学官連携による保育活動と震災の伝承活動も力強く進めてまいります。

結びに、この記録誌が本大会の成果と感動を後世に伝え、震災の教訓と健全で活力ある森林づくりが、宮城県から全国へと広がっていくことを祈念し、発刊の挨拶とさせていただきます。



目次

- 第48回全国育樹祭開催概要 1
- 大会テーマ等の紹介 2
- お手入れ行事**
- お手入れ行事 4
- 記念育樹 9
- 会場の様子 12
- お手入れ行事を支えていただいた皆さん 13
- 式典行事**
- 参加者入場 18
- プロローグ 20
- 秋篠宮皇嗣同妃両殿下御入場 23
- 開会のことば 24
- 三旗入場 24
- 緑の少年団入場行進 26
- 国歌独唱 27
- 主催者あいさつ 27
- 歓迎のことば 29
- 秋篠宮皇嗣殿下のおことば 30
- 緑化功労者等の表彰 32
- 緑の贈呈 34
- 緑の贈呈用苗木の育成 35
- 緑の少年団活動発表 36
- メインテーマアトラクション 38
- 大会宣言 44
- 次期開催県あいさつ 45
- 閉会のことば 46
- 秋篠宮皇嗣同妃両殿下御退場 47
- エピローグ 48
- 式典会場の様子 49
- おもてなし広場 50
- 式典行事を支えていただいた皆さん 56

- 懇談会**
- 懇談会 70
- みやぎ森林・林業未来創造カレッジ関係者との御懇談（地方事情御視察にて） 72
- 併催行事・記念行事**
- [併催行事] 育林交流会 74
- [併催行事] 全国緑の少年団活動発表大会 76
- [併催行事] 全国緑の少年団活動発表大会（交流集会） 78
- [記念行事] 森林・林業・環境機械展示実演会 79
- 開催までの歩み・その他記念行事**
- [記念行事] 『昭和万葉の森』植樹祭2024 82
- [記念行事] 国民参加の森林づくりシンポジウム 83
- [記念行事] 宮城県みどりの少年団活動発表大会 84
- カウントダウンフォト 85
- PRキャラバン 86
- アフターイベント 88
- 感謝状贈呈式 89
- 広報等の記録**
- 広報等の記録 92
- 記録**
- 記録 98

第48回全国育樹祭開催概要

全国育樹祭は、継続して森を守り育てることの大切さを普及啓発し、活力ある森林を次の世代につなげていくことを目的として、昭和52年から毎年秋季に行われている全国行事です。全国植樹祭を開催したことのある都道府県において、国土緑化推進機構との共催で行われています。

開催の方針

宮城県では、「木を使い・植え・育てる」森林の循環利用を推進するため、宮城伝統こけしなどの地域に根差した木工品や木の文化の継承に加え、CLTや広葉樹の活用など新たな木材利用の取組を積極的に進めています。また、令和4年度にはみやぎ森林・林業未来創造カレッジが開校され、官民一丸となった林業の担い手確保・育成にも取り組んでいます。

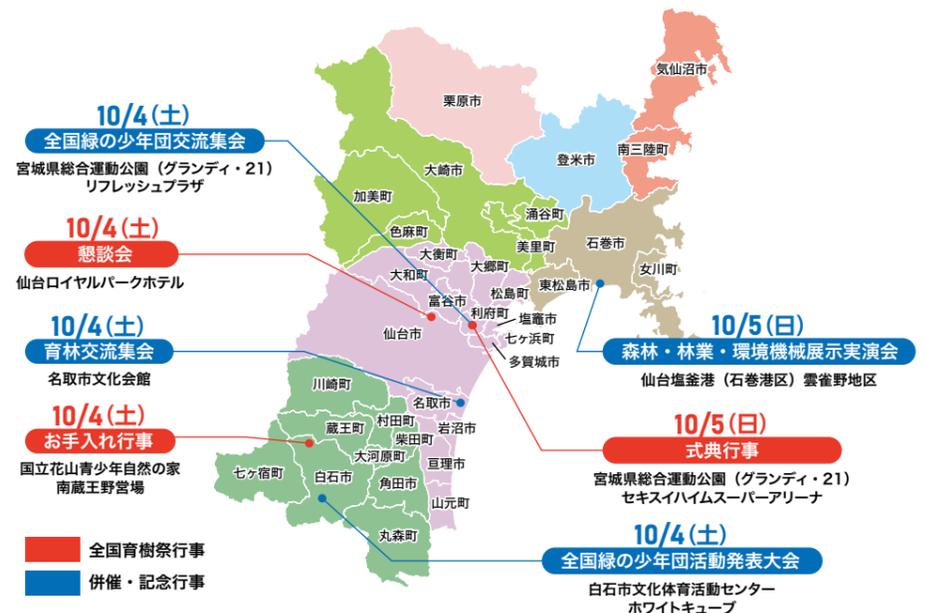
また、東日本大震災により壊滅的な被害を受けた海岸防災林は、多くの皆様のご支援・ご協力により植栽が完了しました。現在は、産学官連携のもと、保育活動を展開するとともに、震災の教訓伝承にも取り組んでいます。

こうした背景のもと、持続可能な森林づくりや森と海のつながりなどを再認識するとともに、震災の教訓を広く伝承し、健全で活力ある森林を次世代へつないでいくため、次の3つを柱に、第48回全国育樹祭を開催します。

本大会の3つの柱

- ① 持続可能な森林づくりの継承
- ② 伝統と新技術による木材利用の発信
- ③ 震災の教訓の伝承と新たな価値の創造

開催日・場所



大会テーマ等の紹介

大会テーマ

「次世代へ みどりのかけ橋 森づくり」

作者 ^{ふくしま すずむ} 福島進さん [埼玉県本庄市]

【説明】

森をキーワードに、次の世代につなぐかけ橋をアピール。

シンボルマーク

作者 ^{はま ちひろ} 濱千尋さん [宮城県仙台市]

【説明】

緑を育て守る様子をキャラクターで表現しました。足は土、手は水をイメージしています。

ひらがなの「み」を使って親しみやすいユニークな表情にしました。

「み」には、宮城のほか、みどり、みんな、未来など育樹祭開催に向けた思いを込めています。



ポスター原画

作者 ^{の がみ あい か} 野上愛馨さん
[宮城教育大学附属小学校2年【令和5年度当時】]

【説明】

植樹に参加したときの絵をかきました。



タイトル「植樹をしたよ」



お手入れ行事



令和7年10月4日(土)に白石市の「国立花山青少年自然の家 南蔵王野営場」で開催したお手入れ行事では、平成9年に開催された第48回全国植樹祭で当時の天皇后両陛下がお手植えになられたブナとオオヤマザクラに、秋篠宮皇嗣同妃両殿下にお手入れ(枝打ち・施肥)を賜りました。

お手入れ行事

会場御着

秋篠宮皇嗣同妃両殿下は、お手入れ行事会場である国立花山青少年自然の家 南蔵王野営場にご到着され、宮城県知事、大会会長(参議院議長)、国土緑化推進機構理事長のお出迎えを受けられた後、宮城県知事の先導によりご入場になりました。



宮城県知事の先導でお手入れ行事会場へご入場される両殿下

パネル御覧



秋篠宮皇嗣同妃両殿下は、緑の少年団から説明を受けながら、第48回全国植樹祭等のパネルを御覧になりました。



製作：宮城県白石工業高等学校 建築部

平成9年の第48回全国植樹祭では、当時の天皇陛下がブナの苗木を、皇后陛下がオオヤマザクラの苗木をお手植えされました。第48回全国植樹祭で植えられたたくさんの苗木は、すくすくと成長し、現在、全国植樹祭の会場は「未来の森」として来場者に親しまれています。

■枝打ち



ブナの枝打ちをされる皇嗣殿下



緑の少年団へ鋸を戻されている皇嗣殿下

■施肥



緑の少年団から鋤をお受け取りになる皇嗣殿下



オオヤマザクラに施肥をされる皇嗣妃殿下



埋め戻しをされる皇嗣殿下

お手入れ行事

■お声かけ



宮城県大河原産業高等学校の生徒へお声かけされる両殿下



緑の少年団へお声かけされる両殿下

■お手入れ道具



鍬（ケヤキ、イチヨウ）
製作：村の家具屋 木響



鋸（ブナ、オオヤマザクラ）
製作：村の家具屋 木響



肥料容器（ミズキ）
製作：伝統工芸士 新山 実

記念育樹

お手入れ行事会場では、会場の樹木に施肥を行う育樹活動を行いました。大会会長（参議院議長）をはじめとした参加者の皆様が、緑の少年団や高校生と一緒に記念育樹を行いました。



大会会長（参議院議長）
関口 昌一



農林水産大臣政務官
庄子 賢一



公益社団法人国土緑化推進機構理事長
濱田 純一



宮城県知事
村井 嘉浩



宮城県議会議長
高橋 伸二



白石市長
山田 裕一



白石市議会議長
松野 久郎



和歌山県知事
宮崎 泉



和歌山県議会議長
岩田 弘彦



参加者による記念育樹

会場の様子



歓迎アトラクション 福士姉妹



木製ベンチ

協賛：株式会社山大
株式会社タカカツグループホールディングス



会場設備へ電源供給する燃料電池自動車 (FCV)
トヨタ MIRAI



ウッドチップ

協賛：宮城県木材チップ工業会



入場ゲートへ電源供給するハイブリッド自動車 (HV)
トヨタ シエンタ

協賛：仙台トヨペット株式会社
株式会社トヨタレンタリース仙台

お手入れ行事を支えていただいた皆さん

■介添え・パネル説明・育樹活動補助



深谷小学校みどりの少年団



小原みどりの少年団・白川小学校みどりの少年団・福岡小学校みどりの少年団

お手入れ行事を支えていただいた皆さん

■介添え・パネル説明・育樹活動補助



越河みどりの少年団

■介添え・育樹活動補助



宮城県大河原産業高等学校 環境科学科 森林類型



大平小学校みどりの少年団

■司会進行



khb東日本放送 阿部 美里

■歓迎アトラクション



福士姉妹
左：福士 奏 右：福士 あみな